

令和5年度 教育計画

ともに伸びようとする子 ～みとめる・つながる・高め合う～

《めざす子どもの姿》

・よく考えやりぬく子 ・なかよくたすけあう子 ・元気であかるい子

《学校教育目標》

子どもの人権と豊かな学びを大切にする学校

[学校経営の重点]

◎「信太っ子スタンダード」に基づき、児童・教職員が目指すべき望ましい姿を共有しながら、人権と学びが大切にされる学校を実現する

◇「学習」「生活」「自分」「仲間」の観点で、望ましい学校生活を送るための姿を具体的に示す。

◇「信太っ子スタンダード」は規則ではなく、「めざしたい姿」であることを念頭に、児童が混乱したり迷ったりしないように、教職員が同じ視点で支援と指導にあたる。

◇児童の実態を基にした PDCA サイクルを機能させる中で、「信太っ子スタンダード」の内容を見直し、児童の成長を力強く後押しする。

◎確かな学力の定着と授業改善

◇基礎的・基本的内容習得のための指導を徹底する。

◇「子ども同士がつながる学び」のための教材研究・指導技術の向上に努める。

◇一人の学びと集団の学びが有機的に関係する学習活動の中で、思いや考えを積極的に伝えあう授業展開を工夫する。

◇「言葉のカタイム」を活用し、「言葉の力」を伸ばす取り組みを全校を挙げて計画的に実施する。

◎基本的生活習慣の確立と食育の推進

◇学校生活の基本的なルールを明確にし、全教職員の共通理解のもと指導にあたる。

◇子ども一人ひとりのよさを伸ばし、自主的・意欲的な生活態度を育成する。

◇基本的な生活習慣定着への指導を継続的に行う。

◇食に対する意識を高め、自主的に健康・生活・安全を高めようとする子どもを育成する。

◎集団生活のきまりを守る子どもの育成

- ◇計画的な集団活動を通じて、望ましい人間関係のあり方について実践的に考えさせる。
- ◇心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ◇一人ひとりが集団の一員としての自覚を高め、互いに協力し、自主的に考え行動できる力を養う。

◎自尊感情、自己肯定感を高める取り組みの充実

- ◇子ども理解を深め、一人ひとりの内面に触れる指導を行うことで、自尊感情の醸成に努める。
- ◇スクールカウンセラー等の活用を含めた教育相談体制の充実を図る。
- ◇望ましい姿を具体的に示すことで、自分の「よさ」を理解して生きていくことの大切さを自覚させると同時に、他者を思いやる豊かな心を育成する。

◎外部組織との連携を含む健康増進・体力向上に向けた取り組みの推進

- ◇学校教育活動全体を通じて心身の健康増進に向けた取り組みを進める。
- ◇外部組織とも連携し、多面的な体力向上の方策を探る。

◎多面的な子ども理解に基づく人権教育・道徳教育の推進

- ◇人権尊重の基盤に立ち、全教育活動を通じて人権教育と道徳教育を推進する。
- ◇差別やいじめに敏感で、「しない・許さない・認めない」鋭い人権感覚を身につけた子どもの育成に努めるとともに、教職員自らも鋭い人権感覚を持ち、豊かな感性を身につけるように努める。
- ◇子どもの実態に応じた、特別の教科、道徳の学習展開と評価について、さらに研究と充実をはかる。

◎正確なアセスメントに基づく個別の支援の充実

- ◇子どもの個性を尊重し、個性を伸ばす指導の充実を図る。
- ◇すべての教職員の支援教育について理解を深め、指導力の向上に努める。
- ◇共に学び、共に育ち、共に生きる、「共生」のあり方を実践する。
- ◇子どもの実態に応じた個別の指導計画を立て、発達を促す教育方法の改善に努める。
- ◇保護者・家庭・地域との連携を密にし、支援教育についての共通理解を深め、協力体制を充実する。

◎9年間を見通した教育活動の展開

- ◇保護者・地域との連携、保幼小中との連携を一層深める。
- ◇キャリア教育の視点を大切に、小中の教職員が9年間を通して継続的な指導と支援を行う。

◎安心・安全な学校づくり

- ◇全教職員が常に「危機管理意識」をもち、安全管理と予防教育に努める。